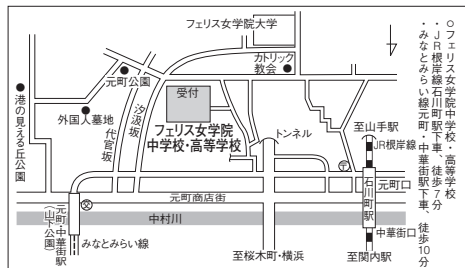


フェリス女学院高等学校

〒231-8660 神奈川県横浜市中区山手町178 ☎045-641-0242 学校長 阿部 素子



〈URL〉 <https://www.ferris.ed.jp/>

沿革 明治3年(1870) 婦人宣教師メアリー・エディー・キダーによって、国内最初的女子学校として創設。明治8年現在地に移転、フェリス・セミナリーと改称。昭和22・23年の学制改革にとまらぬ、中学校・高等学校を設置。なお「フェリス」という名称は、創設者のキダーを送り出したアメリカ改革派教会の外国伝道局総主事・フェリス博士父子の名前に由来しています。また、校章の「盾」は私たちを外部の嵐から守る信仰の力を表し、「F」と「S」はFerris Seminaryの頭文字を、白・黄・赤の色はそれぞれ「信仰・希望・愛(コリントの信徒への手紙一第13章13節)」を表しています。平成26年(2014)、体育館の新築工事、翌27年(2015)には2号館(校舎)の建替え工事が終了。令和2年(2020) 創立150年を迎えました。

校風・教育方針

聖書の教え「For Others (他人のために)」をスクールモットーとしています。キリスト教の信



仰を土台とした自由な校風の中で神を畏れ人を恐れない気品と豊かな教養を身につけます。また、教育方針としては、以下に記す3点が挙げられます。

1. キリスト教信仰

創立以来今日に至るまで一貫して追求し、今後変わることもない方針です。毎朝行われる礼拝、聖書の授業、修養会などへの出席を義務づけていますが、これらの形に表れた営みだけにとまらぬ、キリスト教信仰に基づいた教育を行っています。

2. 学問の尊重

自分に役立つのみならず、他人に役立つ質の高い本物の学問の修得をめざしています。また、単に高等教育(大学)への準備期間としてだけでなく、6年間を通して一人ひとりの個性と能力の発達を促し、各自に最適な進路を見いだすことをめざしています。

した。
社会的地位を認められず教育の機会に恵まれなかった日本女子のために献身したキダー女史は、後に「A BRAVE PIONEER (勇敢な先駆者)」と呼ばれました。

フェリス女学院の創立者

メアリー・エディー・キダー

Mary E. Kidder (Mrs. Miller)

1870(明治3)年、維新政府の体制もまだ整いつていなかったころ、開港地横浜は日本の表玄関として、すでに文明開化の気風がみなぎっていました。この年、アメリカ改革派教会外国伝道局が派遣した婦人宣教師メアリー・キダー女史が日本最初的女子教育機関である本校を創立しま

3. まことの自由の追求

外的規制や強制に頼らず、各自が自主的な判断によって、規則の意味を把握し、他人への配慮をもってこれを重んじる、他人への愛の関わりにおいて発揮される自由を追求します。

カリキュラムの特色

学習指導要領に準拠しながら、独自の教育方針および中高6年間一貫教育の観点から、特色あるカリキュラムを編成しています。

開校以来2学期・週5日制を採用しています。

中学校では、自主的な学習姿勢を育てることを心がけており、全教科について基礎学力の充実をめざします。

高校では、より深い学習展開を図るとともに、一人ひとりの興味や関心を最大限に伸ばすために選択科目を設けています。3年次では、進路に応じた選択制度を大幅に採り入れています。

信仰の基盤である聖書と、礼拝に関わる音楽の授業は、6年間必修です。理科は実験・観察を多く取り入れ、体験的な学びを実施しています。英語は4技能統合型の授業を実施し、音声を伴う学習を重視しています。発音・単語・文法の習得のためにICTを効果的に活用しています。

2025年度より、カリキュラムを改訂し、探究的学びのさらなる推進をめざします。また、オーストラリア(中3)、シンガポール(高1・2)の海外研修(希望者)を実施します。

環境・施設設備

港を見下ろす山手の丘に、豊かな緑とともに各施設が広がっています。教育環境としては、とてもいい場所となっています。普通教室(HR)をはじめとして、カイパー講堂、コンピューター教室・大教室(1学年収容)などの特別教室、小礼拝堂、体育館・生徒ホール・部室・進路資料室など、充実した施設が整備されています。特に図書館は授業で積極的に活用されており、生徒の憩いの場所になっています。

生活指導・心の教育

11月には奉仕週間があります。いつも多くの人に助けられて生きている生徒達にも、人のために何かしてあげる大切さ、尊さを学んで欲しいというのがねらいです。

学校行事・クラブ活動

5月の遠足や体育大会、7月の修養会(中1、中2、高1)、音楽鑑賞会、11月の文化祭など、1年を通じてさまざまな年間行事が行われています。そのなかでも12月に行われるクリスマス礼拝は印象的な行事です。

またクラブ活動も、音楽部・華道部・茶道部・演劇部・文芸部などの文化系、バレーボール部・テニス部・バドミントン部・体操部などの運動系、そのほかハンドベル・クワイア・聖歌隊などが、それぞれ熱心な活動を行っています。

データファイル

2025年度入試日程

中学校					
募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日	
180	1/6~1/19	2/1	2/2	2/3	

高等学校 募集を行っていません

2025年度選考方法・入試科目

中学校	
国語、算数、理科、社会、人物考査(10分)	
〈配点・時間〉国・算＝各100点50分 理・社＝各60点30分	
〈面接〉なし	

2024年春併設大学への進学

併設のフェリス女学院大学へは、内部試験を受験することによって、優先的に進学できます。フェリス女学院大学へ1

2024年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
177人	129人	0人	0人	2人	0人	46人

2024年度入試結果

中学校					
募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率	
180	431	415	205	2.0	

学校説明会 要予約

保護者 11/9

見学できる行事 要予約

フェリス祭(文化祭) ※小3~6年生
11/2・11/4
クリスマスの集い 12/14